

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第五中学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え (本校の課題と改善策 ■=課題 ○=改善策)	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A 3.5	◇コロナ禍であったからこそ、より一層、全教職員が一丸となり協力体制を敷き、取り組むことができた。また、教職員一人ひとりが役割や責任を強く自覚するようになり、校務分掌が非常に有効に機能した。	A 4.0	○生徒、保護者、教職員の評価満足度が高い(生徒:学校生活が充実している 保護者:学校評価「3・4」の割合が高い。教職員:「C・D」の比率が0%) ○下校時間に校門等で立哨指導をしてくださることで、子どもたちに先生方の誠意が伝わっている。 ○コロナのため、先生方及び生徒さん方の行動は大変だったと思います。 ○学力の向上だけでなく、問題意識を持って全体の底上げをされているのが素晴らしいと思います。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。(※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	B 3.3	■休日の鉄扉、職員玄関が施錠されていないことがある。どんな侵入者が入ってくるかわからないので、小まめに鍵閉めが必要。 ○不審者侵入事故の観点や新型コロナウイルス感染拡大防止の観点など、様々な観点から見て、現在の状況では施錠が重要である。教職員を啓発したい。	A 4.0	○先生方の「取組み・姿勢」が生徒に理解・浸透している(生徒集計より)。 ○休日の鉄扉、職員玄関の施錠については、早急な打合せをお願いします。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B 3.3	■学習困難な生徒に対するアプローチをステップアップ教室とタイアップして学力を身につかせた方がよい。 ○夏休み等の長期休業を利用して、課題のある生徒に対し、ある程度の猶予期間を設けた上で、ステップアップ教室を積極的に活用するように、教員側からはたらしめたい。(顧問や保護者にも周知する) ○ステップアップ教室に参加した生徒が誰であるか明らかになるように、教員に周知する。	A 4.0	○令和2年度埼玉県学力・学習状況調査で埼玉県レベルより全学年、全教科とも優れている。 ○先生方のチームワーク、教科を超えた連携が見える。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A 3.5	■不登校生徒への対策を計画した方がよい。 ○個別の支援計画など対策としては、丁寧に策定されている。そのことをより一層教職員に周知し、共通認識を持って当該教員だけでなく多くの教職員が様々な場面、角度から支援にあたりたい。 ■ICT機器 ipadの台数が足りないので授業で使いづらい。増やしてほしい。 ○iPadはGIGAスクール構想で増加予定。 ■PCルームの生徒用PCの接触が悪く、使えないPCが多い。整備してほしい。 ○関係機関・業者に問い合わせた所、来年度からスタートするGIGAスクール構想もあり、現在の段階での、整備・全品交換は難しいとの返答があった。修理は有償となるが、これも、GIGAスクール開始目前の今の状況では得策とは言い難い。あと数ヶ月を現在の状況で、工夫しながら乗り切りたい。	A 4.0	○生徒の評価が高い(生徒集計より)。 ○パソコンやテレビ等ICT機器を使用したわかりやすい授業を行っている。 ○ステップアップ教室への出席生徒の向上結果をしりたい。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B 3.2	■帰りの会后、16時以降教室から移動が守られていない。16時以降のルールをなくしてはどうか。 ◇15時台に廊下にでないよう、時間を守らせる。他のクラスのことを考えて指導する。 ■挨拶が以前より小さい声、少なくなったと感じる。声掛けを続けることが必要。全職員であいさつの指導をした方がよい。 ◇以前のように、ただ大声で挨拶をしるという訳ではない。 職員から挨拶をする。また、挨拶は習慣で身につく。学校が良い雰囲気を出すためにも、ある程度指導は必要であるだろう。このような話を教員からしていきべきである。	A 3.8	○生徒、教職員ともに評価が高いが、保護者アンケートでのコメントが気にかかります(これまでこのようなコメントはなかったのでは) ○学年を超えた先生方の協力、行動に感謝します ○登下校時の生徒さんがとても礼儀正しく素晴らしいです。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	A 3.6	■交通事故があった。登下校の交通安全について実態把握ができていない。計画的に全職員で立哨指導をした方がよい。 ◇できる範囲で行っていく。強制はできない事項である。	A 4.0	○2学年生徒、教職員の評価でNo.6の「2・1」「C・D」評価が0%である。 ○先生方の努力は、会議で承りました。今の時代指導をお願いします。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A 3.4	◇コロナ禍であったが、全教職員の協力と共通認識のもと、体育科のリーダーシップで工夫・改善を行い、できる範囲で運動に取り組ませることができた。	A 4.0	○新体カテストの結果が昨年度に比べて向上している。 ○教職員の評価でNo.8の「C・D」評価が0%である ○保護者の評価も高い。 ○2019年度との変化には驚きです。このままガンバレ。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A 3.4	◇感染対策を十分に取ったの秋期体育祭の開催や、昼休みを利用した体育委員会主導のキックベースボール大会の開催など、感染状況を注視してタイミングを見計らった働きかけを行い、生徒の意識向上と体力向上を意図的に図ることができた。学校評価の数値にも成果の様子が反映されている。	A 4.0	○新体カテストの結果が昨年度に比べて向上している。 ○教職員の評価でNo.8の「C・D」評価が0%である。 ○保護者の評価も高い ○体育の先生方のチームワークに感謝します。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B 3.0	■地域の教育力の活用事例を共有していくと良い。 ○幅広く活用事例の掘り起こしを行いたい。 ■保護者のクレームが多いのは連携できているとは言い難い。原因を探ることとスピード感を持って、組織的に問題に対処した方がよい。 ◇ケースによっては多少の善し悪しもあったが、今後もこれまで通り、スピード感を持ちつつも組織的で丁寧な生徒指導、教育相談を全職員の共通認識で心がけたい。	A 3.5	○総体的には生徒、保護者、教職員とも高い評価であるが(Aレベル)、No.9に関して①1年生の「2・1」評価割合が少し高い。 ②教職員のNo.9、10の「C」評価が18.2%と他の項目と比べて高い。 ○コロナ禍の現在、考え方が色々あると思われそうですが、職員全体で向き合ってください
	10	保護者や地域は、学校と協力が合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B 3.0	■保護者の学校評価を記名にした方がよい。誤解も解けない。 ○現在の状況を3年継続したので、その反省に則り、来年度より記名式に変更して、各問題に直接的に対応できるようにしたい。 ■特に今学期はコロナで行事も少なく保護者が学校を理解する機会がすくなかった。このような場合は、但し書きをつけるなど何らかの補足が必要。 ○来年度も今年度と同様の状況であれば、補足資料や但し書きを記載したい。	B 3.3	○総体的には生徒、保護者、教職員とも高い評価であるが(Aレベル)、No.9に関して①1年生の「2・1」評価割合が少し高い②教職員のNo.9、10の「C」評価が18.3%と他の項目と比べて高い。 ○来年度は補足資料や但し書きは良いと思いますが、保護者記名式はコロナ禍では良いと思いません。 ○今後も三小との連携をコロナ禍でもよろしくをお願いします。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満